



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数 2,873 (7)
人口 6,336人 (13)
男性 2,947人 (8)
女性 3,389人 (13)

(平成25年6月1日現在)

(カッコ内は平成25年5月1日比)

事業内容の充実を図る

城北コミュニティ総会

城北コミュニティ（鈴木巖会長）では25年度総会を5月19日城北コミュニティセンターで開きました。総会には代議員148人のうち118人（委任状を含む）が出席。事業計画、予算案などすべての議案が承認され、新年度の活動が本格的に動き始めました。鈴木会長は開会あいさつで「会長を引き受けて、あわただしく1年が過ぎました。その中で、コミュニティが市政の中でも重要な役割を果たしていることを、実感しました。ますます素晴らしいコミュニティになるよう、皆さまのご協力をお願いします」と述べました。



平成25年度総会

4月24日に就任した梶正治市長が初めて来賓出席。「コミュニティは市役所の単なる下請けであってはならないと思います。身近なコミュニティが地域住民の意見のまとめ役となることを願っています。それらのご意見に沿った形で市役所の仕事を進めていかなければならないと考えています」と話しました。

25年度事業計画では、前年並みを維持しながら内容の充実を図ります。収支予算は32万8803円で、前年度に比べ約8万8000円増えました。24年度決算額は32万5768円で、83万2712円を25年度に繰り越しました。

詫間健太郎・文化部長が退任、後任は近藤顕一さん（土居町二丁目）です。総会席上、前会長で現在は顧問の細谷達則さんへ鈴木会長か

平成25年度収支予算	
収入の部	
費目	金額
前期繰入金	784,403
市助成金	1,769,600
市社協補助金	348,000
地区社協会費	426,800
合計	3,328,803
支出の部	
費目	金額
I 事業費	2,867,000
1 総務部	1,080,000
2 広報部	340,000
3 文化部	102,000
4 福祉部	555,000
5 環境部	243,000
6 保健部	267,000
7 体育部	280,000
II 運営費	190,000
III 予備費	271,803
合計	3,328,803

ら感謝状を贈りました。細谷さんは平成10年5月の城北コミュニティ設立から昨年まで会長を務めました。



細谷達則さん（左）へ感謝状贈呈

25年度事業計画

平成25年度城北コミュニティの主な事業は次の通りです。（紙面の都合上、実施済みのものは割愛しました）

- 【総務部会】第17回ほくほくふれあいまつり、第14回城北明倫まつり、各種研修会
- 【広報部会】広報紙「ともしび」年4回発行、ホームページ

ジ運用、CVC（中讃テレビ）データ放送送信
【文化部会】地域いきいき講座、人権標語募集、人権広報紙「こころ」発行

【福祉部会】一人暮らし老人、寝たきり高齢者の友愛訪問、障害児の激励、一人暮らし老人にはくほくふれあいまつりバザー券配布、福祉施設への作業奉仕

【環境部会】緑道公園の清掃、親子ハゼつり大会、土器川の清掃、ゴーヤ栽培・料理講習、防犯パトロール隊意見交換会、施設見学

【保健部会】すくすくクラブ、健康教室、健康相談、料理教室、玄米にぎにぎタンベル体操、幼稚園・保育所の行事参加
【体育部会】室内ペタンク大会、ラジオ体操、ほくほくふれあいまつり運動場部門企画・運営、ソフトバレーボール大会、丸亀城新春ウォーキング

城北小運動場で開催

「第17回ほくほくまつり」は10月6日（日）に決定。校舎建て替えのため今の運動場では最後の開催です。



もっと知ろう

「明倫の里」



県指定木・真光寺の笠松

総務部会では、コミュニティ活性化の一環として、城北地区の史跡、伝承、街並みなどを地域住民がもっと知り、次世代に引き継ぐことが必要だと考え、明倫の里まち歩き（仮称）準備チームを立ち上げ、試験的に4月28日、地元のと泉さん、大西さんの案内で御供所、平山の寺社、港町の亀陽航空跡などを2時間ほど歩いてみました。

この結果を参考に今後二年に二回程のまち歩き実施を予定しています。

都度広報などでお知らせしますので多数参加ください。

シンボルマーク決定！

広報紙「ともしび」やほくほくまつりのプログラム、コミュニティの法被などに使用するシンボルマークを統一しました。御供所町の佐野洋さんがデザインした「ほくほくまつり」のマークをアレンジして法被に使っていたマークに決めました。



新しいシンボルマーク

ごみの不法投棄を見つけたら

ごみの不法投棄は法律違反です。不法投棄を発見したときは、市クリーン課（☎5817453）に連絡してください。所有者が判明した場合は、警察と連携して厳格に対応しています。

地域でも監視活動を強

恒例の対面式行われる

城北防犯パトロール隊と城北小学校児童との対面式が4月15日、同小運動場でありました。式には、隊員や丸亀警察署、丸亀市少年育成センターの関係者約50人が参加。「ほくほく」羊が入った新しいジャンパーで児童と対面しました。

新一年生は上級生と初めての集団下校で、最後に全児童が「よろしくお願ひします」と元気にあいさつすると、隊員たちは「しっかり見守ろう」と改めて思いました。児童た

化して、不法投棄をさせない、許さない環境をつくりましょう。

ごみは、収集日や分別方法など、ルールを守って当日の午前8時30分までに集積場所へ出すようにしましょう。ごみの分別などについてわからないことがあるときは、クリーン課に問い合わせましょう。

ちは白バイの先導と防犯パトロール隊員の付き添いで、グループごとに自宅に向かいました。



無事故を願って

ラジオ体操や見守りウォーク

全国の自治体同士が運動した住民の数で競う「チャレンジ12013」が5月29日にありました。今年には福岡県大牟田市と対戦し、城北地区でも多くの皆さんが参加しました。

城北小学校運動場ではラジオ体操が行われ、児童や教職員約350人と、地区の皆さん140人の計約500人が集まりました。参加した人たちは音楽に合わせて体を動かしていました。

ラジオ体操の後、児童と参加した住民と一緒に帰る「見守りウォーキング」を行いました。市内のあちこちでこの日は思い思いの運動を楽しみ催しがありました。

城北地区では老人会主催の歩け歩け大会があり、約120人がそれぞれのペースで歩いていました。

今年も残念ですが、丸亀市は敗れました。

【お願い】

○スイセンの球根をいただけないでしようか。ごみの不法投棄で困っている場所、スイセンを植ええられる所も教えてください。

○ゴーヤ料理のレシピを教えてください。

○調理の参加者を募集します。先着30人で、男性の方も大歓迎です。

※明倫センターで受け付けま

人材バンクで たすけあい

「ともしび」69号で城北コミュニティ人材バンク登録をお願いしたところ、3月末現在、ゲーム、幼児保育、語学、踊りなど26分野に18人の登録をいただきました。

人材バンクはコミュニティ内の助け合いで、登録者、分野とも多くなればなるほどより利用しやすくなります。さらに多くの方の参加をお願いいたします。毎日の生活の技、例えば握飯を上手に握るなども歓迎です。

また登録された技能を利用したいと思う方もセンターまで申し込みください。

ゴキブリダンゴの 作り方

この季節、多くの家庭では、ゴキブリ駆除が悩みのタネです。そこで、すごい効き目の「ゴキブリダンゴ」の作り方を紹介します。お役立てください。

【材料】(20〜30個分) ホウ酸500グラム、小麦粉140グラム、砂糖35グラム、牛乳12CC、タマネギ300グラム

【作り方】

- ①タマネギはミキサーまたはおろし器ですりおろします。
- ②ボールに材料を全て入れて牛乳で練り合わせます。この



玉ネギが目にしみる

- ③時、水を入れたり、牛乳の量を増やさないように注意！生菓子ぐらゐの固さに仕上げます。
- ④⑤⑥の材料を3〜5センチぐらいのダンゴにまとめます。
- ⑦⑧の材料を天日で干します。

(そうすれば約1年間腐らずに効果を発揮します)

- ⑤ダンゴが出来たらゴキブリが潜んでいそうな所(薄暗く湿気が多くあまり物を動かさない所)へダンゴを置きます。
- ⑥従来の方法と違ってゴキブリの大小にかかわらず威力を発揮します。

保健部会では、5月24日明倫センターでダンゴの作り方講習会を開きました。34人が参加しました。

行事案内

●玄米ニギニギ体操

日時 毎月1回
13時半〜15時
※センター玄関に掲示
対象 地域に暮らすみなさん
内容 1本300グラムの玄米ダンベルを使って
体操、岩田先生の指導で認知症防止、寝たきり防止の単体
操教室

お友達も誘ってぜひご参加ください。
(保健部会)

●すくすくクラブ

この広場は楽しい遊びや相談の場、お母さん同士の交流・おしゃべりの場です。



親子で楽しく

日時 毎月第3金曜日
10時〜11時半

対象 妊婦さん・0歳からの乳幼児と両親祖父母・地域の人たち
内容 保育士による遊び、身体計測、母子保健推進委員との交流、保健師栄養士による育児相談

●健康教室

日時 平成25年9月11日(水)
午後1時30分〜15時
場所 明倫センター
内容 音楽療法
講師 三崎めぐみ先生

●健康相談

- 7月 城東町
- 8月 大倉団地
- 9月 富士見町

介護予防とは

福祉部会研修会

5月9日、明倫センターで社会福祉協議会、地域包括センター、青の山介護予防センタープランチ担当者の皆さんを招いて研修会を行いました。

いつまでも「イキイキ」自分らしく輝くために「ほどよい運動」「バランスよく食べよう」

「人との交流を大切に」など、高齢者は「介護が必要になる前の日常生活こそが大切」と強調されました。さあ、あなたの生活にも介護予防を取り入れて、健康長寿を目指しましょう。なお、相談窓口は(プランチ) ☎25-3030です。どうぞお気軽に。

日赤募金のお礼

本年度は146万3900円の社資が寄せられました。赤十字の活動資金として、日赤丸亀支部へ納入しました。ご協力ありがとうございました。
(城北婦人会)

学園の現場から

平山保育所

所長 近藤 敏子

平山保育所が新しい園舎になり、1年が経ちました。運動会も今年は新しい園庭で行うことができました。広いウッドデッキでは、毎日、1・2歳児が素足で走ったり、車に乗ったりして楽しくあそんでいます。快適な保育所ですが、もっと素敵な所にしようと、みんなで園庭に「緑をいっばい増やそう」と取り組んでいます。園庭のあちこちに、夏野菜を育てて緑のカーテン作りをしています。



リンゴの木を囲む幼児たち

白組さん(5歳児)も、毎日、園庭の畑に水やりをするのが日課になっています。すくすく育っている野菜を見て「黄

色い花が咲いたよ」「小さい

実ができてるわ」と成長を楽しみにしています。そんな白組さんには、畑とは別の所に成長を楽しみにしているものがあります。それは、白組さんの背の高さと同じくらいに育った2本のりんごの木です。

思いつまるリンゴの木

このりんごの木は白組さんが桃組(2歳児)の時に植えたりんごの種が、三年の年月を経て、少しずつ少しずつ育ってきたものです。昨年、旧園舎からの引越越しの時に「りんごの木も新しい保育所に持っていきたい」と言った子どもたち、今、根元に優しく水やりをする姿には、白組さんのりんごに対するいろいろな思いが詰まっているようです。

「桃・栗三年、柿八年」と言いますが、りんごは何年で実をつけるのでしょうか。実がなるまでにはまだ、時がかかりそうですが、子どもたちの思いのこもったりんごの木と共に、これからの平山保育所の新しい歴史も作ってほしいなあと感じています。

記念日歳時記 港湾・道路

このシリーズは、災害のたびに注目を集めるインフラ各種について、丸亀での起源を尋ねてきました。今回は港湾と道路を取り上げます。(K)

◆海上交通の要衝―丸亀港

丸亀港は丸亀市の海の玄関であり、对本州および塩飽諸島を結ぶ海上交通の要衝として重要な位置を占めています。遠く江戸時代以降、金毘羅参詣者に乗せた客船が行き来するようになって丸亀港が栄え始めました。大坂



からは、淀屋橋で帆船に乗り安治川河口に下り、淡路島の港を経て丸亀に着く。約200キロ、三日三晩かかったようでした。

今も残る金毘羅道の大鳥居(中府町 上部中央に「金刀比羅宮」と書かれた青銅製の額がかかげられている)

文化3年(1806年)に福島湛甫(たんぼ)が出来、天保4年(1833年)には

新堀湛甫が作られました。水深が浅く、干潮時には船の出入りが難儀しました。

明治42年から大正元年にかけて修築工事が行われました。浚渫(しゅんせつ)と埋め立てなどを繰り返して築港の名に見合う基礎を築きました。

◆信仰とかわり―道路

道路の発達は信仰と深いかわりを持ち。金毘羅参りの場合、近郊の人はもちろん、船で丸亀に着き金刀比羅宮を目指す人のために金毘羅道ができました。丸亀街道とも呼ばれるもので、数ある金毘羅道のうちで最も栄えた道でした。

丸亀港から丸亀城の西方を通り、郡家村(現在の郡家町)、公文村(現在のまんのう町高篠)を経て琴平へ通じる。往時の名残が鳥居、常夜灯(金毘羅灯笼)、道標、丁石などに見られます。

外にも広島にありました。合併を機に市道番号を振り直した結果だ。建設順の番号を追うのは難しい。県道33号。もともとは国道11号(徳島市―松山市)だったものが、坂出―丸亀のバイパス工事完成にともない昭和57年3月、県道に格下げとなった。(おわり)

◎主な参考資料、丸亀市史、香川県大百科事典、四国新聞、香川の港湾

あとがき

前回の「記念日歳時記」に電話の歴史が書かれていました。電話の普及率は高く、老若男女に広く利用され、特に高齢者にとっては、生活必需品となっています。

さらに会話形式なので脳トレニングにも効果的であり、家族以外の方とも会話を楽しむことができ、より効果的のようです。技術革新の進展に伴い、自動交換式の電話が急速に普及し、今後さらに進歩を遂げることでしよう。便利になりましたね。

しかし、便利さを利用して振り込め詐欺が流行しています。注意しましょう。(近藤)